

忍者 忍術学講座

協力
Webマガジン「かもめの本棚」

三重大学伊賀サテライト連携事業

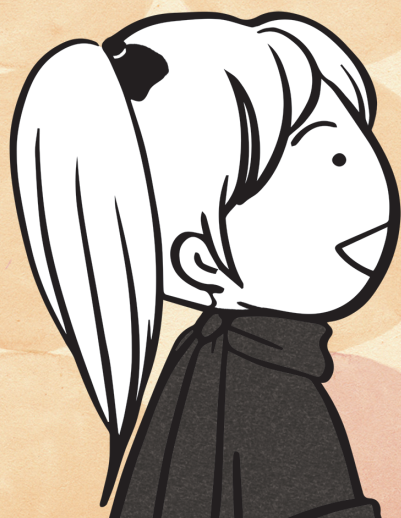
伊賀再発見

三重大学伊賀連携フィールド

特別講座



忍ワタシ と者



さくあん

いずみ朔庵

(イラストレーター、江戸文化伝承家)

第2部

現代で忍者になるためには

子供の頃、時代劇に出てくる忍者に憧れ、親に隠れて修行をしていました。時を経て、今は江戸風俗に興味を持ち、歴史物のイラストや創作の仕事をしています。3年前、ふとしたきっかけで再び忍びの世界に触れ、子供の頃の夢を思い出しました。現代社会で忍者になることは可能なのか。文献や史実研究からスポーツ、エンタメまで、忍びの虚と実像をテーマに語ります。



江戸と忍者と猫が好きなイラストレーター。日本文化、特に江戸風俗に造詣が深い。時代小説や歴史関連書などの挿絵、装画、マンガなどの仕事のほか、興味のあるものはなんでも仕事にする。ポーラ文化研究所Web「ウチの江戸美人」連載中。著書に「財布でひも解く江戸あんない〜マンガで巡る江戸時代の暮らしと遊び〜」(誠文堂新光社)。

たかお よしき

高尾善希

(三重大学国際忍者研究センター准教授)

第1部

私にとっての忍者研究



私にとって忍者研究は最近始めた研究分野です。それまでは民衆史(村落史・都市史)を研究していました。私は自分の忍者研究を下級武士研究のひとつと捉えています。民衆史も有名ではない人物たちをとりあげていますから、下級武士を研究することに、さほど違和感はありません。講義では、忍者学全体を説明するとともに、自分の忍者研究の視点について解説します。

三重大学国際忍者研究センター准教授。徳川時代史専攻。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程研究指導修了満期退学。博士(文学)。主な著書に「驚きの江戸時代一目付は直角に曲がった一」(柏書房)・「忍者の末裔―江戸城に勤めた伊賀者たち―」(KADOKAWA)など。

2020.12/12(土)

YouTube ▶

国際忍者研究センター YouTube 🔍



配信: 三重大学国際忍者研究センター公式YouTubeチャンネル

問い合わせ



国立大学法人

三重大学

三重大学国際忍者研究センター

TEL: 0595-51-7154 e-mail: ninja@rcsn.mie-u.ac.jp

主催: 三重大学伊賀サテライト伊賀連携フィールド(三重大学人文学部・伊賀市・上野商工会議所)

後援: 三重県、公益社団法人三重県観光連盟、一般社団法人伊賀上野観光協会